

□ 要請番号 (JL51518A19)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ケニア	G101 青少年活動		個別	交替	2年	・2018/3・2018/4・ 2019/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

東アフリカ共同体・労働・社会保障省

2) 配属機関名 (日本語)

オザヤ更生学校

3) 任地 (オザヤ) JICA事務所の所在地 (ナイロビ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約3.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

ケニア山の麓の町、オザヤにある全寮制の男子更生施設である。配属先では、軽犯罪を犯した子どもや、保護者の養育を受けることができない子ども、ストリートチルドレン等に衣食住を提供し、社会復帰・再犯防止を目指した教育機会の提供とカウンセリングを実施している。職員数は16名、収容者は約70名、12-17歳の男子が収容され、最長3年間配属先で生活している。

ケニアのNGO(CCA)が専従スタッフを配置し、家庭調査、職業訓練の支援、資機材の提供を2017年から行っている。2016年6月まで青年海外協力隊(JV)(青少年活動)が活動していたが、配属先長交替後は初めてのJV要請となる。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先の教育部門では、歴代JVが子どもたちのソーシャルスキル(協調性や規律など精神的なもの)の向上のため、体育・スポーツの導入に注力してきた。従来はほとんど行われていなかった課外活動、体育・ゲーム等が、以前より重視されているが、職員のみでの実践は困難な状況である。

また2017年に赴任した新配属長は、個別カウンセリングが十分に機能していないことを課題としている。子ども達一人ひとりの状況が十分にモニタリングされておらず、個人別の更生評価の記録に反映されていない。特に学業・体育等で見られる子どもたちのソーシャルスキルの変化・成長が反映される仕組みがない。配属先として現状を改善したいと考えており、精神面での子どもの成長・変化を更生評価を行い、個別カウンセリングの質の向上につなげたいとJVの要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 子ども達のソーシャルスキルの向上を目指し、体育、スポーツの授業を同僚とともに実施し、子ども達の変化・成長を把握する。(体育以外に、小学校レベルの算数の指導が含まれることもある。)

2. 同僚に負担の少ない体育、スポーツの授業を紹介し、協働を目指す。

3. 授業を通じて把握した子ども達の変化・成長を同僚と共有し、個別評価を実施する方法を工夫する。

4. カウンセリング部門での個別記録、子ども達へのフィードバックの方法を、同僚とともに検討し、カウンセリングの実践・改善を目指す。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務所スペース、事務机、イス、図書室(会議室)、運動場

4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先上司・同僚】

施設長(男性)、副施設長、社会福祉担当職員3名、教員5名、警備員2名、秘書2名、調理師2名

【対象者】
男子(12-17歳くらい) 約70名(変動あり)

5) 活動使用言語

スワヒリ語

6) 生活使用言語

スワヒリ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]： ()

[学歴]： (短大卒) 備考：同僚と同等の学歴が必要

[性別]： (男性) 備考：指導対象が全員男性

[経験]： () 備考：

[参考情報]：

- ・ 青少年を対象に指導・活動をした経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (西岸海洋性気候) 気温： (10～25℃位) [電気]： (不安定)

[通信]： (インターネット可 電話可) [水道]： (不安定)

【特記事項】

住居は配属先提供による職員住宅となる見込み。